

令和7年度学校評価(重点目標)

松本筑摩高等学校 定時制午前部・午後部

〔評価について〕 A=成果が見られた B=ふつう C=改善が必要である

		中・長期目標			
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨 を目的とする。		「心あらたな学び直し」、「限られた時間を活かしての学び」、「働きながらの学び」を願う生徒が、安心して学習し、社会の一員として生きる力を育成する。			
		今年度の重点目標			
		1 いじめや暴力を絶対に許さない安心・安全な学校をつくる。 2 社会人基礎力（特に挨拶できる力）を育てる。 3 生徒の力を引き出す「わかる授業・伸ばす指導」を工夫し、学力の定着・伸長を図る。 4 地域に開かれ、地域とつながる学校をつくる。			
分野	重点項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策
安心安全な学校づくり	学校生活支援	1 相談やアンケート等を通して、生徒の理解に努め、寄り添いながら適切な支援ができたか	B	従来の面談に加え、アセス(学校生活アンケート)について全年次で実施した。アンケート結果をより生徒支援に活かせるように研究していく。	アセスを全年次で2回実施する。結果を踏まえた面談や、これまでの継続的な面談を行い、適切な生徒支援につなげる。
		2 盗難や交通事故、人間関係トラブル等から身を守る行動をとれるように指導できたか	B	問題件数は例年と比べ多かった。生徒指導関係の各種講座やHR連絡を通して注意喚起をすることに努めた。	交通安全・情報モラル等、生徒指導関係の講座は継続し注意を促す。防犯カメラの増設をお願いし、予防対策・事実確認に活かしたい。
	規範意識の醸成	3 お互いを尊重し、いじめ・暴力のない安心安全な学校づくりを推進できたか	B	いじめ・暴力事案においては、事実を確認し、当事者に対し指導・支援を行うことができた。予防的対策を充実させたい。	生徒の小さな変化を見逃さず必要な声かけをしていく。職員間での情報共有や保護者連絡を密にとり、事案の予防に努める。
		4 挨拶を大切にするとともに、SST等を通して、コミュニケーション力を向上させることができたか	A	SSTでは、コミュニケーション力の向上に手ごたえを感じる生徒が増加傾向。内容の見直しの成果があり、また良いものは残しつつ行うことができた。	書字が苦手な生徒への対応として、ワークシートの記入を一部タブレットでの入力も可としたがワークシート全般でそれが行えるようにしたい。
社会人基礎力育成	自主活動の充実	5 活動計画を立て、生徒が生徒会活動に積極的に関わることができたか	B	昨年度の反省をふまえ、行事の年間計画に合わせた準備のための推進日程も生徒が主体的に策定することが出来た。	役員の活動を全校生徒に周知することで、生徒会活動への関心をより高める必要がある。
	キャリア教育推進	6 進路ガイダンスや体験学習により生徒のキャリア意識を高めることができたか	A	進路ガイダンス、職場体験学習等、外部講師による意識形成ができ、進学意識・職業意識を喚起することができた。	生徒、保護者、職員にむけてガイダンス・講座の目標や年次間の流れのあらためて整理し、意義を確認していきたい。
	進路指導の充実	7 進学や就職に関わる情報を適切に伝え、進路実現につなげることができたか	B	年次に応じて情報発信ができた。低学年での学校見学や模試受験など、積極的な取組もみられた。本年は他行事との関係で、4年次の講座時間が的確な時期にとれなかった。	さらに生徒の意識が向上するよう、効果的な情報発信心がけたい。年間の指導の流れを改めて確認し、他分野の行事との調整をはかりたい。
伸ばす指導	わかる授業	8 生徒の実態や授業評価を基に授業改善に努め、わかりやすい授業づくりができたか	B	授業評価では、授業が分かりやすく工夫しているという評価を多く得た。教員相互の授業見学による授業改善が図れるようにする。	授業評価による授業改善のほか、教員相互の授業見学を行い、わかりやすい授業づくりを進める。
		9 ドリル学習や基礎力診断テストの活用により、基礎学力の定着を図るとともに、上位層の学力を伸ばす取組みができたか	B	ドリル学習の積み重ねや基礎力診断テストの利用により基礎力の定着が図れた。さらなる上位層の学力を伸ばす取組みが課題。	進路係や学び向上委員会が中心となって上位層の学力を伸ばす取組みについて研究する。
	教育課程の研究	10 評価方法や教育課程の研究を進め、生徒の実態に合った教育課程の編成ができたか	B	県内外の学校視察を行い生徒の実態に合わせた半期設定科目を設置することができた。今後多くの科目で半期設定ができるよう研究する。	引き続き多くの科目で半期設定ができるよう研究を進め、生徒の実態に合わせた教育課程の編成ができるよう努める。
開かれた学校づくり	発信情報	11 公開授業や学校説明会および、公式ホームページなどを通じて、本校の特徴を十分に伝えることができたか	B	公開授業や学校説明会では学校の概要や特徴を伝えることができた。ホームページのリニューアルに向けた作業が必要である。	わかりやすく見やすいホームページを目指してリニューアルを進め、情報発信の充実化を図る。
	地域連携	12 街路清掃や地域の方との交流等、地域と関わる取組みができたか	A	地域の方々に支えられているという感謝の気持ちをもって街路清掃をおこなうことができた。	地域の環境に対する意識をさらに高め、ごみを捨てない心がけや地域貢献ができるよう努める。
		13 地域の人材や教育資源を活用し、生徒の学びに活かすことができたか	A	教科学習、SST、進路ガイダンス等で地域の方々を講師に招き、社会性を身につけるとともに地域や働くことについて学んだ。	さらなる地域人材の活用を進め、地域と連携した生徒の体験活動やボランティア活動を充実させる。